

佐 怒 賀 直 美 * 選

一般の部「白河の四季折々」◎入選

杉木立祠抱えて五月闇

静岡県三島市白

央 子

阿武隈のせせらぎ渡る祭足袋

白河市北 川

春 子

那須風両の手で持つ根深汁

矢吹町 木

戸 和 男

湖にどんとせり出す松の秋

栃木県壬生町 川 俣

修 一

五月雨の渦の揉み合ふ谷津田川

湾曲の石垣の果ていわし雲

石川町 い な じ ま る

稲妻の照らす明神和算額

白河市 田

邊 真 舟

みちのくに翁の啜る走り蕎麦

愛知県東浦町 伊 藤 京 子

千年の関の巨木へ蟻の列

会津美里町 野

中 憲 子

卯の花をかざし行脚の僧二人

矢吹町 藤 田 光 徳

ここよりはみちのくと呼ぶ秋の風

埼玉県さいたま市 増

田 信 雄

櫓床に残る弾痕秋の声

茨城県下妻市 篠

崎 順 子

那須残雪借景にあり小峰城

矢吹町 納

谷 一 光

阿武隈の上流清し川蜻蛉

東京都江戸川区 羽

住 博 之

臘夜の背伸びしている小峰城

白河市 岡

部 赤 崩 山

薫風のたまゆらの音や古戦場

城壁のクルスの印に赤蜻蛉

矢吹町 柏

木 康 男

雲の峰南湖の風に立ち上がる

埼玉県長瀨町 野

原 清

関跡やつくつくほふしくりかへす

白河市 小

林 富 子

ピヤッコイに太古の匂ひ泉湧く

矢吹町 岡

本 堯 子

炎天や石工見上げる小峰城

矢吹町 印

田 弘 司

義経ものぼりし磴や青葉闇

雲掴む狛犬の足秋立ちぬ

白河市 小

山 孝

一声の望月の馬関越える

郡山市 高

市 宏

鹿島社へ月の御輿のかち渡る

白河市 久

保 田 直

交番に出店の順路だるま市

東京都多摩市 浜

田 邦 夫

光背は菊桜なり定信像

白河市 田

村 幸 吉

松籟や月待山の秋深し

白河市 田

村 玲 子

雪晴れや愛宕神社の百二段

白河市 橋

本 和 昌

古歌に聞く関を色なき風の過ぐ